

令和8年度 第2回生駒市行政改革推進委員会 会議録

開催日時 令和8年4月30日(木) 午後2時～午後3時30分

開催場所 生駒市役所 4階大会議室

出席者

(委 員) 森委員長、清水委員、林委員、佐藤委員、松山委員

(事務局) 鉦田経営企画部長、牧井企画政策課長、粉家企画政策課課長補佐

白川企画政策課企画係長、北廣企画政策課企画係係員

太田企画政策課企画係係員

傍聴者 なし

欠席者

城戸委員、江成委員、中西委員、平山委員

1 開会

(事務局)【挨拶】

2 案件

(1)施設使用料の見直しに係る提言について

(事務局)【施設使用料の見直しに係る提言について説明】

(委員長) 鹿ノ台ふれあいホールとふるさとミュージアムについて、現行と異なり、個別単価の設定をしなかった理由を記載したい。

(事務局) 現行の単価設定を行った際、ふるさとミュージアムは旧中央公民館の別館として位置づけられていたが、老朽化が著しかったため、個別単価を設定していた。その後、歴史文化の振興を目的としたミュージアムとして改修工事を行い、リニューアルオープンしている。

(委員長) 老朽化を理由に個別単価を設定しているのであれば、改修工事を行っている以上、個別単価を設定する必要はないと考える。鹿ノ台ふれあいホールに関してはどうか。

(委 員) 当時は、施設利用者のほぼ全てが周辺地域の市民で占められていたことから、個別単価を設定していたが、昨今の物価の上昇と設備の維持管理経費の増加を踏まえれば、市全体で協力して負担することが妥当であり、共通単価を設定することは致し方ないと思うがどうか。

(各委員) 了承。

(委員長) 提言書は答申までに最終確認をする。

(2)令和7年度行政改革大綱に係る取組状況の評価について

(事務局) 【令和7年度行政改革大綱に係る取組状況の評価について説明】

(委員長) それでは事務局の説明のとおり、目指すべき方向性5つの中から各2事業以上ずつ、担当課の自己評価に D、E が含まれるものを中心に10～14事業程度選出したい。

(各委員) 了承。

(委員長) 方向性2には自己評価に D、E となっている事業が含まれていないため、方向性2の「歳入増につながる施策の創出・強化」から審議を始めたい。歳入増に関して生駒市にとって重大だという観点から候補を挙げたい。

(委 員) 生駒市スマート農業推進事業補助金について、各項目の自己評価がされていないものの総合評価が C となっているのはなぜか。

(事務局) 本事業は実施が遅れ、開始が年度末になったため評価ができなかった。翌年度以降は評価を行えるはず。

(委員長) 学研北生駒駅中心地区まちづくり推進事業とはどういう事業か。

(事務局) 駅東側は整備されているが反対側は山林となっている。今後玄関口とするためにそのエリアのまちづくりを進める事業。

(委員長) 多様な収入源の確保の事業はふるさと納税か。生駒市は寄附が入るよりも出ていくほうが多い。この事業を選定してもいいのでは。

(委 員) この項目は収入増につながる政策のため、コスト意識の自己評価に C 評価がされているのは確認しておくべき。

(委員長) この事業は選定する。もう1つの事業を選びたい。ニュータウン事業も含めてまちづくり系の事業でどうか。

(事務局) 北生駒の事業に関して、総合評価を C とした理由は、地権者の同意取得に着手することができなかったため。区画整理事業なので地権者の合意が必要になり、その調整が難しい。同意を得ることができなければ委員会で審議を行っても改善することができない。

(委員長) ニュータウン事業はどうか。

(事務局) この事業はハード面の事業ではなく、既存の住宅地への転入定住を促進し、空き家の増加を防ぐというソフト事業であり、現在はモデル地区として萩の台住宅地を選定している。この事業は昨年度も評価対象となっている。

(委員長) 生駒駅南口エリアリノベーションプロジェクトはどうか。これは重要事業として位置付けられているのか。

(事務局) 拠点形成室が主になって古い空き家や空き店舗を活用したい人に対して伴走支援

をするというソフトの事業。

(委員長) 道の駅の事業は企画政策課の担当か。

(事務局) 道の駅を作るのか調べるための調査検討を行っている段階。

(委員) ローカルビジネス起業の促進事業はなぜ改善とされているのか。

(事務局) 3年連続100名以上の応募がある人気のある事業ではあるが、市外の方も来られる。市の事業である以上は市外からの参加者には参加料を徴収すべきではないかというところで改善としている。

(委員長) 幅広い企業誘致、開業支援と新たな産業集積の創造はどうか。自己評価は高くなっているが。

(事務局) 企業への補助金が予算の大半を占めている。

(委員長) 企業への補助金や固定資産税の軽減などはどれくらい効果があるのか。

(委員) 道路などのアクセス性のほうが影響は大きいのでは。

(委員長) 補助金だけでなくそれに付随するサービスも必要。

(委員) ローカルビジネス起業の促進事業に力を入れてもいいのでは。

(委員長) これを取り上げてもよろしいか。

(各委員) 了承。

(委員長) それでは方向性2については多様な収入源の確保とローカルビジネス起業の促進の2事業を対象にする。

続いては方向性5「機動的な組織運営に向けた仕事の進め方・働き方の改革」から1事業を選定する。

(委員) ダイバーシティ推進プラザの事業、性別に関わらず誰もが働きやすい職場等への意識改革はどうか。

(委員長) 働きにくさはあるのか。

(事務局) 女性職員の増加や男性職員も含めて育休が取りやすくなるよう制度の改正は行っているのですが、雰囲気は向上していると感じるが、まだ気づけていない部分もある。また、この事業は市内のみだけでなく市内の企業等に向けて発信していく事業でもある。

(委員長) 市役所内部の動きだけの事業ではないというのは重要。

(委員長) 生駒市の場合、大企業ではなく中小企業がメインとなっている。そういったところでも女性の働きやすさは人材確保の面でも重要。

この事業を選出してよろしいか。

(各委員) 了承。

(委員長) あと1事業を方向性3, 4の中から選びたい。自己評価に C 評価が多いがファミリー・サポート利用料助成事業と人員体制の強化はどのような事業になっているのか。

(委員) サポーターの方がなかなか集まらず、人員不足の印象がある。

(委員) デジタル・データ活用の評価がされていないが、デジタルを用いた周知などの手法

に改善の余地があるのではないか。

(事務局) オンラインで予約ができる仕組みはできていて、使う側にとってのオンラインでの利便性はある。しかし逆に援助会員、サポーターを増やすためのプログラムにオンラインが活用されているかどうか課題。

(委員) プロモーションなどの手法にオンラインの活用を考えることができるのではないか。

(委員長) それではこの事業を選出し、計12事業を2つの部会に分けて6事業ずつ審議をする。各部会の委員については、本日欠席されている委員もいるため事務局と話し合い調整する。

(事務局) 部会の構成については、委員長一任で調整してよろしいか。

(各委員) 了承。

(事務局) 部会の予定は後日調整する。部会で審議した内容を取りまとめる全体会は7月に開催する予定。また、前回審議した公共施設等総合計画管理計画のついての全体会は6月に開催を予定している。

3 閉会